

『Colorful Chaos』 寸評

- ・なんとなく落ち着かなげな、しかしよくまとまったコラール
- ・タイトルと相まって現在の社会を映しているかのよう
- ・四声体和声として順当な書きぶりがうかがえる
- ・m.5 b.3, m.6 b.1, m10. b.3の響きがそれぞれハッとさせられ快い
- ・金管四重奏として楽器の選択も合っている

完成度をさらに上げるために

- ・m.1 b.4, m.10 b.2, m.11 b.1-2, m.13 b.4, m.15 b.4とところどころに空虚5度が出てくるのは何か意図があるのだろうか
- ・m.16 Tp.2が6度でハモったらどうだろうか
- ・m10 Trb.でm.9のTp.1を模倣したらどうだろうか
- ・m.12でHn.にも出番を作ってみたらいいかも
- ・主旋律以外にもちょっとした出番を各楽器に与えるとよい
- ・m.3 b.2, m.5 b.4 長三和音の第3音を重ねないほうが響きがよい

m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

たしかに手月宛を感じます。

持庵 勉